

## 2015年度総会記念講演

### 「“助けて”と言えない子どもたち～共に生きる地域社会をめざして～」

2015年5月23日下関市社会福祉センター

講師 奥田知志

NPO法人 抱樸 理事長

東八幡キリスト教会牧師

一般社団法人 生活困窮者自立支援全国ネットワーク 共同代表



アンケートから

- ・とても感動いたしました。今まで表面的な見方で、ホームレスや子どもの問題を見ていたと思います。私たち自身が「助けて」と言うことが、これからあると思います。お互いが助け合うことを、現代社会は失いつつありますね。
- ・今、自分ができる事って何だろうかと考えさせられました。
- ・「生笑一座（いきわらいちざ）」……この名前は、「生きてさえいれば、いつか笑える日が来る」一座ということで、2013年春に誕生したそうです。貰ったパンフレットで知りました。ホームレスという死の危機を乗り越えてきた人たちが、自分の経験を生かして、子どもたちのために学校を訪問するのだそうです。一座の目的はひとつ。「たとえどんなことがあっても、生きてさえいれば、きっと笑える日が来る。子どもたちよ、生きろ！」と伝えることだそうです。すばらしいですね。
- ・今日聞きました内容・データを、今後の民生児童委員の日々の活動に生かしたいと思います。
- ・様々なことを自分は知らず、関わっていないので分からないということが、よく分かりました。